

# 会 議 録

## 1 会議名

令和元年度第2回春日区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 令和元年度 地域活動支援事業の提案状況と本日の作業「課題の共有と個別質問の確定」について（公開）
- (2) 質問事項の整理（グループ別）（公開）
- (3) 質問事項の整理（全体会）（公開）

## 3 開催日時

令和元年5月13日（月）午後6時30分から午後9時50分まで

## 4 開催場所

上越市市民プラザ 第4会議室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：池杉清子、今井孝、大竹明德（副会長）、金子隆一、渋谷俊（副会長）  
田沢浩、田中幸晴、谷健一、野澤武憲、星野 剛、松田光代、吉田幸造（会長）  
吉田 実、鷺澤和省（欠席6人）
- ・事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、藤井係長、田中主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【藤井係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

### 【吉田会長】

- ・会議録の確認：今井委員に依頼

次第2 議題「(1) 令和元年度 地域活動支援事業の提案状況と本日の作業『課題の共有と個別質問の確定』について」に入る。事務局より提案状況の報告と本日の作業内容について説明を求める。

**【藤井係長】**

- ・確定提案状況の報告
- ・次第・参考資料・グループ票に基づき作業内容の説明

**【吉田会長】**

今の説明に質疑を求める。

**【鷺澤委員】**

この後のグループ作業で必要な役として、司会、全体会での発表者、書記との説明があった。しかし欠席者もあり正副会長は場外した場合、人員が限られてしまう。

**【吉田 実委員】**

正副会長はグループ内での進行や書記作業は行ってよいと思う。

**【鷺澤委員】**

各委員が発言しやすいようなグループ分けをした方がよいと考える。突発的にやむを得ず休んでいる委員もいるため難しいとは思いますが、役に付ける委員が2人程度のグループもある。グループによって人数に偏りもあるため、作業が難しいように思う。本来であれば各委員が考え調べてきた意見を中心に作業を行っていくべきと考える。

**【藤井係長】**

グループでの進行役と全体会での発表者は同じでもよいと考えており、進行役と書記の2人を選出するやり方がよいと考えている。また人数の少ないグループについては事務局が書記役で入ることも可能である。今年度は質問数も多いため4つのグループに分かれての作業がよいと考えた。

**【鷺澤委員】**

正副会長が全ての内容を一番把握していると思っている。昨年度、自分が担当したグループでは正副会長が進行を行った。全体会での発表役を除けば、正副会長がどのグループに所属しても問題はないと思っているため、柔軟に対応してほしいと考えている。

**【本間センター長】**

先程の事務局の説明は、今ほどの鷺澤委員の発言と同様の説明をしたつもりであるため理解してほしい。

【吉田会長】

欠席の委員もいる状況の中で、各グループ内で上手く対応し時間内で終了したいと考えている。各班で協議決定してほしい。

【吉田 実委員】

制限はかけず、臨機応変に行えばよいと思う。

【吉田会長】

各グループにて協議決定し、対応することとしてよいか。

(よしの声)

他に質問等はあるか。

(なしの声)

以上で次第2 議題「(1) 令和元年度 地域活動支援事業の提案状況と本日の作業『課題の共有と個別質問の確定』について」の説明を終了する。

次に次第2 議題「(2) 質問事項の整理」に入る。事前配布している【参考資料】質問票と個別質問を整理するグループ表を基に4つのグループに分かれ、あらかじめ割り振られた担当事業の質問内容を絞り込み「てにをは」の修正と共に質問文章を「ですます調」に整えてほしい。また同事業で類似した質問の整理は可能だが、そこから波及した新たな質問の発生は想定していないため注意してほしい。ここでの時間は60分を予定している。では各グループに分かれ審議を進めてほしい。

— 4グループに分かれ、質問事項を整理 — (60分)

【吉田会長】

会議を再開する。

次第2 議題「(3) 全体会による質問事項の整理」に入る。まずは質問事項の整理結果の確認である。各自配布された質問事項を10分程度で確認してほしい。

【金子委員】

目を通しながら各グループの発表を進めて行ってはどうか。

【吉田会長】

では進めながら確認して行ってよいか。

(よしの声)

では進めながら質問事項を確認していく。質問事項の復活提案に入る。1番から25番まで提案番号順に質問事項の復活提案の有無を確認する。提案のある委員は質問内容と復活させるべき理由、「理屈」であって「想い」ではない。発言を求める。

**【今井委員】**

質問内容を見て、どのような意味か疑問に思った場合は確認してよいか。

**【吉田会長】**

分からない場合は聞いてよい。

“春-1”から検討していく。担当グループは発表願う。

**【野澤委員】**

Aグループの発表を行う。

“春-1”の質問事項は「①交通費が大半をしめていますが、参加者に自己負担を求める考えはありますか」「②参加者の構成（男女・年齢層）や参加人数の推移を教えてください」「③独居の方への具体的な働きかけはしていますか」の3つに絞った。①の質問については同様の質問が多く出ていたため、内容を1つにまとめた。【参考資料】質問票の金子委員からの質問で「老人会や寿会と違う組織なのですか。一緒に活動できないのですか。」とあるが、老人会や寿会は老人クラブの関係であり上越市の高齢者支援課の事業である。またいきいきサロンは上越市社会福祉協議会の事業関連である。次にいきいき春日野は上越市健康づくり推進課の事業であり、それぞれ元が違うため一緒に行くことは出来ない。その他の質問についてもこれらを踏まえ不採用とした。

**【吉田会長】**

今ほどの発表に付け加える内容等はあるか。

(なしの声)

次に“春-2”について発表願う。

**【野澤委員】**

“春-2”は「①会員から会費を徴収し、地域活動支援事業補助金を減らす考えはありますか」「②5ページと7ページの関連が分からないのでヒアリング時に説明して下さい」「③糸魚川への謝礼の基準は何ですか」の3つとした。“春-2”についても同様の質問が多かったため、質問をまとめたかたちである。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

【今井委員】

②の質問事項については、ヒアリングではなくプレゼンテーションとして実施するため、プレゼンテーションに変更したほうがよい。

【吉田会長】

他にあるか。

(なしの声)

次に“春-3”について発表願う。

【野澤委員】

“春-3”は「①多くの大会に参加されていますが、これまでの成績や結果の事例を教えてください」「②今回、どのような理由で地域活動支援事業に応募したのですか」「③スポーツ活動において、経済的に苦勞していると考えますが、実情を詳細に教えてください」の3つとした。“春-3”についても似たような質問が多かったため、まとめたもの。

【吉田会長】

何か質問のある委員は発言願う。

【今井委員】

③の「経済的に苦勞していると考えられますが」については、我々が想像しているだけであるため表現を変更してはどうか。

【池杉委員】

自分も同様に考える。表現がきついように感じる。

【今井委員】

同様な質問内容であっても、様々な表現があったように思う。運営等の表現に変更してはどうかと考える。

【田沢委員】

本来は父兄の負担で賄わなければならないが、苦慮しているため地域活動支援事業に提案してきたと思う。そのため「スポーツ活動において、父兄負担があると考えますが、実情を教えてください」としてはどうか。

【池杉委員】

保護者負担との表現でよいと思う。

**【今井委員】**

③の「スポーツ活動において」とあるが、スポーツ団体であることは理解しているため削除し、「保護者負担の実情を詳細に教えてください」のみでよいと考える。実際に保護者がどの程度負担しており、今回なぜ申請をするに至ったのかということを知りたいのだと考える。

**【大竹副会長】**

今井委員の意見に賛成である。

**【今井委員】**

「苦勞しているため助けてほしい」と言われるのか、「全く苦勞はしていない」と言われるのかは分からない。

**【鷺澤委員】**

おそらく【参考資料】質問票の中の自分が質問事項として記載した「他のスポーツ団体と比較して～」ということであると思う。他のバスケットボールやバレーボール・野球と比較すると会費が高額である。年間で3万円や5万円もかかる部活はなく、また遠征費は多いもので70万円から80万円の補助申請をしてくるクラブ活動もある。会費を高額に徴収し遠征費等を捻出していると思うが、他の団体とは違った方法で節約しているのであれば、そこを聞きたいと思う。

**【今井委員】**

今ほどの鷺澤委員の「他のスポーツや団体と比較して」との意見も理解は出来るのだが、団体に入っている人はそれを承知で入っていると思う。自己負担が大きいと思えば、他の団体に変更することも実際にある。そのため、我々が自己負担を慮る必要はないように思う。そこは協議会委員が判断することではないように思う。それを言ってしまうと他の団体にも繋がって来てしまうように思う。

**【吉田会長】**

様々な意見が出たが、最終的には採点による評価を行うため、採点に任せてよいと考えている。

**【大竹副会長】**

質問事項の文言についてはどうするのか。

**【吉田会長】**

保護者負担との文言でよいと思っている。

**【鷺澤委員】**

保護者負担でよいと思う。結局、遠征費や会費については保護者が負担している。負担額が突出している。

**【今井委員】**

逆に、プレゼンテーションでどのような回答が返って来るのかを待つかたちでよいと思う。

**【吉田会長】**

では③は「保護者負担の実情を詳細に教えてください」としてよいか。

(よしの声)

次に“春-4”について発表願う。

**【野澤委員】**

“春-4”は「①町内会からの支出も含め、町内会との連携は、どのようにされていますか」「②発電機一式の詳細な優先順位を教えてください」の2つとした。①は町内会の1組織として自衛消防部があると思うため、町内会との連携を確認したいと考えた。次に②の発電機一式は高額であるため、もし不採択や減額になった場合も考え優先順位を確認したいと考えた。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

**【金子委員】**

提案書を見ると、発電機は優先順位が5番目である。

**【野澤委員】**

発電機一式の優先順位は5番目ではあるが、一式の中でも項目がいくつかある。そのため、一式の中での優先順位を確認したいということである。

**【金子委員】**

しかし一式での購入を希望しているということだと思う。

**【大竹副会長】**

一式ではあるが、一式の中でも削減できる部分があると思うため、削除できる順位ということである。

**【田中委員】**

採点通りに決めればよいため、あまり深く考えなくてもよいと思う。

**【吉田会長】**

最終的には採点にて判断するため、“春-4”はAグループで決定した質問事項に決定する。

次に“春-5”について発表願う。

**【野澤委員】**

“春-5”は「①前年度の繰越金を遠征費に当てることはできませんか」「②指導者の謝礼の基準を教えてください」の2つとした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

**【吉田会長】**

次に“春-6”について発表願う。

**【野澤委員】**

“春-6”も多くの質問が出ていたが「①甲冑の着用体験ができる企画はありませんか」「②相見積もりを徴収していない理由を教えてください」の2つにまとめた。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

**【今井委員】**

“春-6”の提案団体は以前に申請時も「ここに発注する」と提案書に記載してあった。そのため、以前のプレゼンテーション時に確認した際「ここでしか甲冑を作成していないため、この業者に発注する」との回答があり、これについて協議会委員は理解しているがあえて質問する、ということでしょうか。

**【鷺澤委員】**

毎回同様の質問が出てきているように思う。

**【金子委員】**

合見見積もりは基本であるため、確認してよいと思う。

**【今井委員】**

毎回同様の回答が想像できるが、想定してということである。

**【吉田会長】**

次に“春-7”について発表願う。

**【星野委員】**

ここからはBグループが発表を行う。Bグループでは“春-7”から“春-13”までの7提案について検討を行った。まず“春-7”である。1つ目「①クリーン活動や防災訓練、交流活動は町内会事業として他の町内は行っていますが、支援事業に提案した理由を教えてください」、2つ目「②用水路の管理は用水組合が行うものではないでしょうか。用水組合で出来ない理由を教えてください」、3つ目「③防災訓練費の備品について、別途市の補助金制度の活用は出来ないですか」については、調べたところ大豆町内会は補助金30万円の限度額に対して12万円程度の残額があるため質問事項とした。次に4つ目は担当した7提案の共通質問事項として「④地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担の増額や事業の縮小、次年度への繰り越しは可能でしょうか」とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

**【今井委員】**

④の質問事項については、Dグループでも話が出た。④については全事業への共通質問として、個別質問とは別で各団体に質問してはどうかと考える。

**【鷺澤委員】**

Cグループでも④を共通質問としてはどうかとの意見が出た。④については事務局より附帯項目として各団体に添付するとのことであるため、重複して質問する必要はないと考える。

**【吉田会長】**

④の質問事項については削除し、最終的には全ての団体への共通質問として全団体に確認するとしてよいか。

(よしの声)

次に“春-8”について発表願う。

**【星野委員】**

④の共通質問事項を除いて、残りの6提案の発表を行う。

“春-8”は「①『交通事故が多数発生』とあるが、プレゼンにおいて具体的な事例や件数を教えていただきたいです」「②地域協議会からの支援が無くなった後の自己資金の確保などの対応は考えていますか」の2項目とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-9”について発表願う。

**【星野委員】**

“春-9”の発表を行う。「①会費（個人負担）の金額を教えてください」は提案書には会費有となつてはいるが1人当たりの金額の記載がないため設問とした。次に②グラウンドゴルフクラブといった個人で使用する用具等について、個人で準備出来ない理由を教えてください」の以上2項目とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-10”について発表願う。

**【星野委員】**

“春-10”は「①防犯ベスト、パトロール帽子、誘導灯、拍子木、LEDライト等の備品について、現在の保管数や廃棄数などを教えてください」と備品の管理状況についての設問1項目とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-11”について発表願う。

**【星野委員】**

“春-11”は「①今後の更新計画または増数計画を教えてください」とし、楽器を計画的に購入しているような計画性があるか否かについての設問1項目とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-12”について発表願う。

**【星野委員】**

“春-12”は「①過去4回の事業費はどこから調達したのか教えてください」、「②

大きな組織である上越商工会議所の主催であり、その中で盛大に行うべきと考えますが、支援事業の活用理由を教えてください」、今回が5回目の開催であるが過去4回は地域活動支援事業費を使用していないため設問とした。次に「③第4回ではクラウドファンディングを実施して集金をしていますが、第5回（今回）のクラウドファンディングの実施予定はありますか」とし、計3項目とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-13”について発表願う。

**【星野委員】**

“春-13”は「①公園へのベンチの設置について、町内会で費用負担することは検討なさいましたか」とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-14”について発表願う。

**【田沢委員】**

Cグループの発表を行う。“春-14”は「①『春日山城跡の史跡公園』を求める活動の現在までの進行状況について教えてください」「②城跡は春日区のみならず全市及び県・国の財産である。その為行政以外からの資金を募る計画はありますか。（例えばクラウドファンディングなど）」の2項目とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-15”について発表願う。

**【田沢委員】**

“春-15”は「①町内会費で賄うことでの検討はされましたか。その上で提案された特段の理由があれば教えて下さい」の1項目とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-16”について発表願う。

**【田沢委員】**

“春-16”は「①通学路パトロール等は、具体的にいつどの様に行うのか計画について教えて下さい」「②PTA安全安心パトロール活動と小学校後援会の安全安心見守りパトロール事業は別組織で収支も別会計か教えて下さい」の2項目とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-17”について発表願う。

**【田沢委員】**

“春-17”は「①銘板が小さく見えにくく、一方向からしか見ることが出来ません。わかるよう設置に工夫出来ませんか」「②設置後の景観の維持に環境整備活動は欠かせませんが、清掃等活動計画があれば教えて下さい」の2項目とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-18”について発表願う。

**【田沢委員】**

“春-18”は「①平成30年度支援事業費とのつながりを教えて下さい」「②防災用品の物置は市からの補助が出て各町内で設置しているが検討されましたでしょうか。また防災消耗品等は町内会で賄う事は出来ませんか」の2項目とした。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-19”について発表願う。

**【田沢委員】**

“春-19”は「①直近の収支決算について、会費を含めた収入、支出の費目、金額を教えて下さい」「②幼年野球で投手用ネット、外野ネット、給水ローラー等について、父兄からの応援は出来ませんか。出来ない理由を教えて下さい」の2項目とした。

【吉田会長】

何か質問のある委員は発言願う。

【池杉委員】

父兄の言い方を保護者に変更したほうがよいと思う。

【今井委員】

“春-3”と言い方を統一したほうがよい。

【吉田会長】

では父兄の言い方を保護者に変更してよいか。

(よしの声)

次に“春-20”について発表願う。

【田沢委員】

“春-20”は「①構成員90名は全員75才以上の高齢者でしょうか。また名簿管理はどの様にされているか教えて下さい」「②交通費や参加謝礼等の一部自己負担金（受益者負担）について、どの様に捉えておられるか教えて下さい」の2項目とした。

【吉田会長】

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-21”について発表願う。

【今井委員】

Dグループの発表を行う。“春-21”は「①会費や自己負担の金額を教えてください」これが提案書に具体的な金額の記載がなかったため設問とした。次に「②交通費について、内訳を教えてください。また、自己負担額はありますか」これは交通費と参加費がざっくりとした数字での記載であり、また自己負担も有無も入れた設問とした。

「③参加費及び交通費が前年と比べて上がった理由を教えてください」これは前年と比較した所、同じ名称の大会があるのだが全て昨年よりも金額が上がっていたため設問とした。次に「④監督、選手の名簿をご提供いただけますか」は他の団体で提出している団体もあるため、具体的な確認として設問とした。次に「⑤どのような地域活性化を考えておられますか」は、地域との関わりについて質問した委員が何人かいたため取上げた。地域内で閉じこもらず、地域との接触を確認する設問である。

【吉田会長】

何か質問のある委員は発言願う。

**【田沢委員】**

③の文言についてである。「前年と比べて上がった」とあるが、「前年と比べて増額した」との表現に変更してはどうか。

**【今井委員】**

「前年と比べて増額した理由」に修正する。

**【吉田会長】**

次に“春-22”について発表願う。

**【今井委員】**

“春-22”は直近の会計収支決算の収入・支出ともに0円であったため「①会費を設けていない理由を教えてください」とした。次に「②春日中学校野球部や高志ビクトリーズなど他のチームとの関連を教えてください」は備品等について、周辺団体との関係を確認する設問である。次に「③帽子、ユニフォームが25着必要な理由を教えてください、また、個人負担でお願いできませんか」は構成人数にある選手数選手数が13人に対し倍近い25着の申請であり、指導者を含めた着数かの確認である。次に「④中学生の学校別人数を教えてください」は中学生の野球チームであるが、春日中学校以外の参加者もいるのかについての確認である。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-23”について発表願う。

**【今井委員】**

“春-23”の発表を行う。他で申請された野球チームの提案内容で「使用するボールの規格が変更された」とあった。規格が変更されボールが必要であると思うのだが、どこの団体も優先順位的には帽子やユニフォーム類が上位にいたため他と同様の設問として「①帽子、ユニフォームが30着必要な理由を教えてください。また、個人負担でお願いできませんか」とした。次に「②ティーバッティングネットが2帳必要ですか」は選手数18人と少数なため単純に必要なか否かの確認である。次に「③これまで備品の更新が必要になった際にはどのように費用を負担してきましたか」は設立から随分経過しているため、これまでどのように対応していたのかの確認である。また今回

の申請で全ての備品を買い替える様な数量の申請でもあったため、この確認も含めて  
いる。次に「④地域の行事に参加する予定はありますか」は質問として出ていたもの  
をそのまま採用した。チーム内だけではなく、地域内での催しやイベントに団体とし  
て参加するか否かの確認である。次に「⑤地域の団体などからの援助はありますか」  
も④と同様にチーム内だけの交流のみか否かの確認である。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-24”について発表願う。

**【今井委員】**

“春-24”は他と比べて多くの質問が出ていた。同じような内容も多かったが、質問  
自体の種類も多く出ていた。最初に「①交通誘導は、商工会の方でできませんか」は  
Q&A記載の作業員1時間当たり単価840円と比較しても高いため確認である。次に  
「②2019年3月のイベントの参加者数と、どのような反響があったか教えてください」  
はイベント全体での成果を確認するものである。次に「③PAについては、例えば教  
育委員会などで無料で借りられるのですが、どうしても有償のレンタルでないといけ  
ませんか」は昨年もPAについて同様の質問が出たが、意見にならぬようアドバイ  
スを含めた質問とした。次に「④協賛金収入は検討していますか」はシンプルに収入に  
ついての確認である。次に「⑤謝礼市内10団体とは、どんな団体ですか」は提案内容  
に10団体の詳細がなく、また1団体あたりの謝礼額にも幅があり詳細が不明なため詳  
細の確認である。委員からモーターイベントの存在意義の質問がいくつかあったが、  
今回はあえて取入れなかった。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

次に“春-25”について発表願う。

**【今井委員】**

“春-25”の発表を行う。最初に「①地元の商店、商工会、地域協議会との連携はど  
のように考えていますか」である。今回設問中に地域協議会と取り入れた理由として  
は、春日区地域協議会の観光分科会の協議内容に同様の特産品製作が含まれているた

めである。次に「②商品の完成より前にパッケージ、ラベル、HPを製作する理由を教えてください。サンプルがあれば、ご提供ください」については、試作品の作成とパッケージ作成等が同時に進行するのだが、金額的にもそれなりになってしまうため順番的な意図を確認するための設問である。また金額的に大きな金型作成に関する質問も出ていたが、不採択の中で判断するほかないとの結論に至った。

**【吉田会長】**

何か質問のある委員は発言願う。

(なしの声)

以上で全ての質問事項が決定した。

**【藤井係長】**

事務局よりいくつか確認をお願いしたい。

まず“春-22”の③「個人負担でお願いできませんか」が意見にならないか否か確認願う。

**【今井委員】**

Dグループ内では「お願いできませんか」との文言にすることで表現を和らげたつもりであった。しかし意見的な表現になってしまうのであれば、質問の意図は「25着必要な理由」であり、その回答はプレゼンテーションで得られると思うため、削除してよいと考える。どのような理由で必要なのかの回答を得て委員が判断すればよいと思う。

**【吉田会長】**

では「また、個人負担でお願いできませんか」を削除してよいか。

**【星野委員】**

“春-22”の提案書に構成員が選手13人、指導者12人の合計25人と記載されており、25着必要な意図になると思う。そのため、③の質問事項があえて必要か否かを審議願う。

**【今井委員】**

今となってみれば指導者も含めて25人と理解出来るが、自分は当初提案書を見た際は将来的にチームを倍の人数にしたいため倍の着数を購入希望と捉えていた。その可能性があることも考えられる。指導者の分も含めてとの回答が来ることも想定できるが、次の“春-23”への質問にも繋がり意図的には同様である。

**【金子委員】**

保護者分は必要ないと思っている。そのため選手分のみと考えてよいと思っている。

**【今井委員】**

どういう意味での“25着”なのかを敢えて聞きたいと思っている。もし指導者分含めてとの回答を得た場合、採点時に各々が判断すればよいと考える。

**【鷺澤委員】**

従来は選手分のみ補助である。

**【大竹副会長】**

どのような回答が返って来るかということである。

**【吉田会長】**

聞いてもよいと思う。

**【今井委員】**

“春-22” “春-23”の「個人負担でお願いできませんか」との文言は削除願う。

**【吉田会長】**

“春-22” “春-23”の「個人負担でお願いできませんか」との文言は削除としてよいか。

(よしの声)

**【藤井係長】**

引き続きお願いする。“春-21”の「④監督、選手の名簿をご提出いただけますか」との質問事項についてである。事務局にて事業提案を受け付ける際、会則等がない場合は名簿等の提出を求めている。そのため、選手名簿の提出を求める理由を協議してほしい。

**【鷺澤委員】**

選手名簿の提出が必要な理由ということである。

**【今井委員】**

“春-21”の提案書の中では選手数や指導者数等の具体的な人数の記載がされていない。それもあり、他の団体からは名簿の提出もあるため確認の意味を込めている。しかし事務局から説明があったように、会則の提出があれば名簿の提出は求めているのであれば、質問をしても納得出来る回答は期待できないように思う。“春-21”についてはあまりにも漠然とした提案であったため、もう少し内容を知りたいと思ってい

る。そのため名簿まで行かなくとも、選手・指導者の構成人数は確認してもよいと考える。役員数については記載があるが、実際にどのように運営されているのか分からない。また交通費についてもどの程度の人数を想定しているのか分からない。これらについて確認したいと考えている。そのため「④監督・選手の構成人数を教えてくださいませんか」としてはどうか。

**【田沢委員】**

しかし、なんのために必要なのかという理由が必要であると考え。「収支確認のために」や「費用算出のために選手数を教えてくださいませんか」としてはどうか。

**【今井委員】**

費用判断はどうか。

**【田沢委員】**

判断は先の話である。では確認はどうか。

**【大竹副会長】**

費用確認がよいと思う。

**【今井委員】**

どの程度の支出があるかの確認をすることが、質問の根拠である。「費用を確認するために、監督・選手の構成人数を教えてくださいませんか」はどうか。

**【吉田会長】**

では“春-21”の④は「費用を確認するために、監督・選手の構成人数を教えてくださいませんか」としてよいか。

(よしの声)

**【藤井係長】**

次に“春-24”についてである。本日配布した資料の中で質問事項②に関連した内容を記載しているため確認願う。

**【田中主事】**

質問事項②のイベント参加者数については、昨年度の実績報告書に記載されている。そのため、あえてプレゼンテーションの場での確認が必要かについて検討してほしい。

**【鷺澤委員】**

Dグループの質問事項の発表の中で、費用対効果についてはプレゼンテーションの場で判断するとの説明があった。前年・前々年度共にプレゼンテーションに参加した

が少し疑問があるため、費用対効果について提案者がどのように考えているのかを確認するということであると思っている。

**【今井委員】**

改めて本日配布資料を確認すると、昨年度の事業評価として「ほぼ計画どおり実施でき、予想していた成果が得られた」として、詳細が記載されている。今回のプレゼンテーションの場では、昨年度報告書のまま読み上げるのではなく、また「報告書を提出した」と言われたいよう、「今年度も頑張りたい」との発言が聞けるような方向に持っていければよいと考えている。そのため質問事項②の参加者数に関する文言は削除しても、「イベントの反響や手応え」と言ったPRの様な内容を確認してはどうかと考えている。

**【田沢委員】**

“春-24”の質問事項②は何が知りたいのかといえば、報告書を踏まえて「今後どうしたいのか」ということであると思う。この様な内容を入れてはどうか。例えば「反響があり、今後の発展性についてどのように考えているのか」はどうか。

**【今井委員】**

提案者は当然、反響があることを期待して毎年同様の提案をしていると思う。

**【田沢委員】**

「今後の発展計画は考えていますか」といった表現はどうか。

**【今井委員】**

今後の発展計画といった聞き方をした場合、提案書内の「次年度以降の活動の見通しを確認してほしい」との回答になってしまわない心配である。

**【田沢委員】**

手ごたえを感じている中で、プレゼンテーションの場で発表してもらえばよいと思う。

**【今井委員】**

手応えとの文言を入れてみたいと思っている。

**【田沢委員】**

団体としてどのように考えているかを確認したいということであると思っている。

**【今井委員】**

委員から出ていた質問内容を見ても、イベント内容に対する疑問や費用対効果に関

する質問が多かった。では、「2019年3月のイベントの、手応えや反響を今年度の見通しも含めて教えてください」はどうか。

【田沢委員】

もう少し内容を詰め、「イベントの結果を踏まえ、来年度以降の見通し」としてはどうか。

【今井委員】

「2019年3月のイベントの反響や手応えを踏まえ、今年度以降の発展性を教えてください」はどうか。

【星野委員】

やはり、提案書内の「次年度以降の活動の見通しを確認してほしい」となるように思う。

【今井委員】

本当はプレゼンテーションの場で「子どもにこのように喜んでもらえたため、今年度は更にこのようにしたい」といった内容が聞けることが望ましい。

【藤井係長】

補足である。“春-24”はプレゼンテーション欠席の予定である。

【鷺澤委員】

欠席であれば文書での回答を得るしかない。

【今井委員】

欠席であれば、なおさら必要であると思う。今年度の提案書や昨年度の報告書の内容とは別なエピソードを知り、イベントの内容の1つ1つが無駄ではない事が理解できればよいと思っている。

【吉田会長】

では、“春-24”の質問事項②は「2019年3月のイベントの反響や手応えを踏まえ、今年度以降の発展性を教えてください」としてよいか。

(よしの声)

【田沢委員】

今井委員が言いたいことは、提案書内の「次年度以降の活動の見通し」の最後にある「より多くのお客様に来場していただけるような観光イベントになるよう検討中です」の詳細であると思う。

**【今井委員】**

この質問をすることで、こちらの意図を読み取って具体的な内容説明等があればよいと思っている。

**【吉田会長】**

では、“春-24”の質問事項②は「2019年3月のイベントの反響や手応えを踏まえ、今年度以降の発展性を教えてください」とする。

**【藤井係長】**

最後に全ての団体に向けた共通質問について協議願う。

**【吉田会長】**

“春-1”から“春-25”までの共通質問を決定していく。共通質問について意見を求める。

**【今井委員】**

吉田 実委員が質問票に共通で記載した文言をそのまま採用してはどうか。Bグループが共通質問とした質問事項である。

**【吉田会長】**

確認する。Bグループの発表にあった「地域活動支援事業の補助金が減額された場合、自己負担の増額や事業の縮小、次年度への繰り越しは可能でしょうか」を共通質問としてよいか。

(よしの声)

**【鷺澤委員】**

“春-11”の春日小学校の金管楽器購入についてである。昨年度、春日小学校の演奏会に参加したが、これは学校行事・音楽活動の一環として成果を発表した行事であった。提案している楽器については教育活動にも使用される物であり、本来は市費や後援会で購入する物である。しかし不足しているため、昨年度に支援事業を活用して購入した経緯がある。そのため質問事項に市費・後援会費の確認をする意味で自分が質問票に記載した「希望の楽器は本来の教育活動に使われる物ですので市費での補充が原則です。市費及び後援会費での補充状況はどうなっていますか」との文言を付け加えたほうがよいと思う。

**【池杉委員】**

それは今年度の購入状況についてということか。

**【鷺澤委員】**

そのとおり。今年度、市費や後援会費で購入できる楽器はあるのかの確認である。

**【今井委員】**

「本来の教育活動に使われる物ですので」との文言は意見になってしまうため、「今年度の市費及び後援会費での補充状況はどうなっていますか」としてはどうか。

**【鷺澤委員】**

「“本来の教育活動”に使われる物ですので」との文言は意見ではなく、事実である。

**【田沢委員】**

楽器の市費というのは、教育委員会から出ているものと、支援事業費から出ている金額も市費であると思う。そのため今年度の状況については、支援事業がまだ採択決定していないため分からず計画しか答えられない。

**【鷺澤委員】**

前提条件として、これまで小学校や中学校に支援してきた楽器は放課後の自発的な活動のための楽器である。しかし今回の春日小学校の申請は、学校行事に使用するための楽器である。昨年度の申請は子供たちのためを思って採択した。自分は反対という訳ではないが、あくまでも本来の教育活動と放課後の自発的な活動を区別する必要があると考えている。

**【吉田会長】**

しかし区別することは難しいと思う。放課後の自発的な活動を学校行事で披露することもあると思う。

**【鷺澤委員】**

事実を見ればすぐに分かる。

**【渋谷副会長】**

鷺澤委員の意見を取り上げるか否かについて、採択を取ってはどうか。

**【吉田会長】**

採択を取ってよいか。

**【鷺澤委員】**

単純に「市費・後援会費での補充状況はどうなっていますか」でもよい。

**【吉田会長】**

今ほどの鷺澤委員の意見について、採決を取る。意見を取り上げてよいと考える委員は挙手願う。

(7人挙手)

反対に取上げなくてよいと考える委員は挙手願う。

(6人挙手)

では意見を取り上げることにする。

【今井委員】

冒頭に「今年度の」との文言を付けたほうがよいと思う。

【吉田会長】

今ほどの今井委員の意見を取り入れ、「今年度の市費及び後援会費での補充状況はどうなっていますか」としてよいか。

(よしの声)

以上で次第2 議題「(3) 全体会による質問事項の整理」を終了する。

次に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局に説明を求める。

【藤井係長】

- ・ 次回の協議会：5月25日（土） 午後1時から 市民プラザ第2会議室
- ・ 内容：地域活動支援事業「プレゼンテーション＋個別質問に係る口頭回答の実施」  
※プレゼンテーションでのアンカーの選出について提案

【吉田会長】

今回は「提案団体によるプレゼンテーションと個別質問への回答」であるが、昨年度より「再質問」が可能となっている。本日はこの場で事前に、再質問の内容が適切か否かを判断する調整役であるアンカーを2人選出したいと思うがよいか。

【今井委員】

確認であるが、再質問はありということでのよいのか。再質問は不可能として、本日決定した質問事項のみであればアンカーは不要と考える。

【吉田会長】

昨年と同様の進め方としている。

では立候補者は挙手願う。

【今井委員】

立候補者がいないようであれば引き受ける。

【吉田会長】

正副会長の話の中では昨年と同じ委員に依頼したいと考えている。

(よしの声)

では昨年同様に、アンカーは渋木副会長と今井委員の2人に決定する。

他に何かあるか。

(発言なし)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。